

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 建設業界等と連携した人材育成・獲得プロジェクト事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3126)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,161 千円 (前年度予算額：1,161 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,161	462	0	0	0	0	0	0	699
要求額	1,161	462	0	0	0	0	0	0	699
決定額	1,161	462	0	0	0	0	0	0	699

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

建設業界、製造業界等では若年者の担い手確保が大きな課題となる中、国際たくみアカデミーでは、入校生確保が課題となっている。建設業界等を目指す若年者の減少は入校生の減少にも繋がることから、各関係団体とこの課題を共有し、連携して人材の育成・獲得に取り組む必要がある。

平成28年度までは建設業界と建設業関係3科の連携に特化して取り組んだが、平成29年度からは国際たくみアカデミーとして人材育成に取り組む製造業界とも連携を図り、それぞれ人材の育成・獲得に努めている。

(2) 事業内容

国際たくみアカデミーと建設業界等の関係団体とが一体となって、職業としての建設業、製造業の魅力向上や入校生確保に向けた取組みを行い、関係各科の入校生確保と人材育成を図ることで、その出口となる建設業界等の人材獲得に貢献する。

【職業的魅力の発信強化】 940千円

- 建設業界等と連携した「親子しごと体験教室」等の実施
関係団体と協力し、ものづくりに触れる「親子しごと体験教室」を実施し、ものづくりのやりがいや魅力のアピールとともに、その職業に直結した国際たくみアカデミーとを一体的にPRする。
- 熟練の技能に触れる魅力的な講座等の開催
高校生を対象としたものづくり体験実習、オープンキャンパスでの体験講座等により、熟練技能の魅力をPRするとともに、対外的に情報発信を行う。

【新たな担い手「女性」の取り込み】 221千円

- 「たくみ女子会」による女性技能者・技術者の交流促進等
アカデミー修了生を中心に女性技能者等が交流する女子会を設け、建設業界における女性のネットワーク化と女性目線で建設業界の仕事の魅力等を発信。
- 女性人材獲得に向けた検討会等
女子会メンバーと関係団体による女性獲得に向けた検討会の開催等。

【魅力的なカリキュラムの充実】

- マイスター等の非常勤講師による魅力的な授業の実施
熟練技能者である非常勤講師による授業機会を設け、入校生の意欲とスキル向上を図るとともに、入校検討者に向けたアピールポイントとする。
国際たくみアカデミーと建設業界等の関係団体とが一体となって、職業としての建設業、製造業の魅力向上や入校生確保に向けた取組みを行い、関係各科の入校生確保と人材育成を図ることで、その出口となる建設業界等の人材獲得に貢献する。

(3) 県負担・補助率の考え方

地方創生推進交付金充当（補助対象経費の1／2補助）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	302	親子ものづくり体験教室、たくみ女子会講師
旅費	249	講師等費用弁償、業務旅費
需用費	525	消耗品 377千円、会議費 2千円、印刷製本費 146千円
役務費	54	傷害保険料、郵送料
使用料・賃借料	31	会場借り上げ料
合計	1,161	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国際たくみアカデミーの入校生確保は、各業界の担い手確保に直結するため、関係団体と連携した取組みによって入校生を確保・育成し、輩出する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名： 定員充足率	事業開始前 (H28)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
生産技術科	50%	100%	100%	100%	100%	100%
建築科	100%	110%	100%	100%	100%	110%
住宅建築科	45%	75%	100%	100%	100%	100%
設備システム科	40%	30%	100%	100%	100%	110%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 ※新型コロナウイルス感染症のため中止 職業的魅力とたくみアカデミーの取組みを業界団体と一体となってアピールすることができる。
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>令和3年度は100%の入校生の確保ができた。業界団体と共に業界の魅力の発信を行っており、業界団体からの事業ニーズは変わらず高く、建設業等の人材育成・獲得に必要な事業である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>当校は常に入校生確保が課題である。近年の入校生数は、事業開始前と比較すると大きく増加しており、当該事業を業界とともに地道に実施していることが人材確保に有効となっている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 1	<p>令和2年度・3年度は新型コロナの影響で、イベントを実施できなかった。次年度は、新型コロナの状況を踏まえながら実施方法を工夫して行う。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 若年者の人口減少が進む中、各業界の人材確保は一層厳しい状況となっており、国際たくみアカデミーにおける入校生確保への期待が高まっている。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 入校生と各業界における担い手の獲得に向けて、関係団体と連携して様々な取組みを検討し、推進する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
